※令和４年度以降入学生用

学校番号	1202

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	「高校生の歌集　つどい」　（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の４つの分野を年間通して学習します。
・様々な音楽表現を通して感性を高め、音楽文化の多様性を尊重する態度の形成を目指します。
・学習活動では個人活動以外に、合唱や少人数グループで合奏や創作課題に取り組みます。
・学習の到達度は、授業態度、ワークシート、実技テストおよび提出作品で評価します。

２　学習の到達目標

・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとのかかわり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。
・自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。
・主体的に・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①音楽を形作っている要素の働きについて実感を伴った理解による「知識」の習得、②音楽の多様性の理解創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能（演奏・創作・言語化）を身につけ、表すことができる。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。それをどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。 ②粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整・試行錯誤・テスト＆チェックすることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	【斉唱】 校歌、歌集より 【歌詞の理解と表現】 ひまわりの約束 【他者との調和を意識して歌う技能　3部合唱】 翼をください 【楽典】 音価、読譜にかかわる記号、コードネーム	a：楽譜に書かれた表現をもとに、曲種や表現形態に応じた発声を身につけている b:歌詞表現から曲想を感じとり、自己のイメージや意図をもって表現を創意工夫している c：主体的、協働的に歌唱練習・パート練習に取り組んでいる	観察 楽典テスト	実技テスト	観察 練習態度
	器楽ギター	『第三の男』 ・基本姿勢 ・各部品の名称 ・TAB 譜面の読み方 ・コード、フレットの押え方 ・伴奏のヴァリエーション	a:ギターにおける基本的技能・知識を身に付け、楽譜を見て演奏することができる。 b:基礎的なストローク演奏からカッティングや伴奏のリズムを自分なりに工夫し演奏披露することができる。 c:ギター演奏に自主的に取り組もうとしている。アンサンブルでは仲間に声を掛け合いながら教えあおうとしている。	・楽典テスト ・実技テスト（読譜）	・実技テスト(演奏の工夫、テクニック、アンサンブルの技巧)	・観察 ・アンサンブル練習
	鑑賞	教科書にのっている歌唱教材や鑑賞教材 「翼をください」「ハナミズキ」 オーケストラについて 「シンフォニックゲーマース」 「管弦楽のための協奏曲」 「名曲アルバム」より	a:　その時間に学んだ楽語やキーワードをなどを使用できている。 b:テーマに沿って自分の考えをまとめ、レビューとして書くことができる。 c:鑑賞記録の用紙に沿って曲名や作詞者など正しく書き写されている。レビューの内容が一言だけではなく、行の８０％は埋めているか。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 鑑賞態度

※令和４年度以降入学生用

２学期	歌唱	【歌詞理解、曲想に応じた発声で歌唱表現する】 キセキ　裸の心 【他者との調和を意識して歌う:3部合唱】やさしいあの子 【楽典】 音価、読譜にかかわる記号、コードネーム	a:　楽譜に書かれた表現をもとに、曲種や表現形態に応じた発声を身につけている b:歌詞表現から曲想を感じとり、自己のイメージや意図をもって表現を創意工夫している c：主体的、協働的に歌唱練習・パート練習に取り組んでいる	観察 楽典テスト	実技テスト	観察 練習態度
	創作	『Cups リズムアンサンブル創作(グループ創作)』 ・基本リズム ・選曲～曲の編集 ・リズムアンサンブル創作～演奏練習～ビデオ撮影	a:選曲した楽曲構成・形式を楽譜から理解し、創作に活かすことができる。曲の編集作業で自分たちが企画した通りに仕上げることができる。 b:楽曲がもつ構成や特徴的なリズムを作品に取り込んで創作することができる。グループで息の合った演奏をめざし、演奏練習する。 c:グループ創作に自主的に取り組もうとしている。お互いに意見を出し合い試行錯誤しながら、作品の完成度を高めることができる。	・ワークシート ・音源編集	・観察 ・演奏作品（提出、作品の内容）	・観察 ・演奏作品（作品の完成度） ・振り返りシート
	鑑賞	・Jpop の楽曲構成・形式 ・繰り返し記号、拍子記号 【歌謡曲から Jpop への 100 年】 歴史的背景・媒体・メディアの変化　、教科書掲載曲中心にビデオ鑑賞	a:読譜にかかわる知識を身に付ける。：ポップスについて歴史的背景・媒体の変化について知る。 b:　Jpop の楽曲構成・形式を理解し、創作に活かすことができる。:課題内容に沿った内容で、自分の意見を交えて回答している。 c:練習問題や振り返りシートなど自主的に取り組むことができる。 c:鑑賞記録の用紙に沿って曲名や作詞者など正しく書き写されている。レビューの内容が一言だけではなく、行の８０％は埋めているか。	・楽典テスト ・ワークシート	・楽典テスト ・ワークシート	・観察 ・ワーク提出 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	器楽ギター	BB クイーンズ『おどるぽんぽこりん』 ・基本姿勢 ・TAB 譜面の読み方 ・コード、フレットの押え方 ・コードネームの読み方 ・伴奏のヴァリエーション	a:ギターにおける基本的技能・知識を身に付け、楽譜を見て演奏することができる。 b:基礎的なストロークから伴奏のリズムやカッティングを自分なりに工夫し演奏披露することができる。 c:ギター演奏に自主的に取り組もうとしている。目標とする演奏範囲を超えて練習し、演奏を披露することができる。	・楽典テスト ・実技テスト（読譜）	・実技テスト(演奏の工夫、テクニック)	・観察 ・実技テスト(演奏範囲)
	鑑賞	【舞台芸術】 舞台装置、メディアの進化、「夜の裏王のアリア」「カルメン」「メモリー」「くるみ割り人形」「土蜘蛛」「義経千本桜」	a:　その時間に学んだ楽語やキーワードなどを使用できている。：舞台芸術のジャンルについて表現の特徴と代表作品を知る。 b:テーマに沿って自分の考えをまとめ、レビューとして書くことができる。 c:鑑賞記録の用紙に沿って曲名や作詞者など正しく書き写されている。レビューの内容が一言だけではなく、行の８０％は埋めているか。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 鑑賞態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度